

歯科材料 03 義歯床材料
管理医療機器 義歯床補修用レジン 70831000

デンチャーライナー

【禁忌・禁止】

メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー又は有機溶媒に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状：粉材と液材となる。

成分・分量

構成成分	性状	成分
粉材	粉末	ポリエチルメタクリレート、着色剤、その他
液材	液体	メタクリル酸イソブチル、その他

付属品：硬化促進剤、混和カップ、スプーン、スパチュラ等

【使用目的又は効果】

適合が悪くなった義歯床の吸着安定、及び顎堤の状態改善に用いる。

【使用方法等】

- ① 義歯床粘膜面及び辺縁を一層削除して新生面を出し、水洗・乾燥します。
- ② 標準粉液比は、粉計量カップ目盛 3（約 2.8 g）に対して、液スポイト目盛 2 mL です。スパチュラで、気泡をまき込まないように約 20 秒間よく攪拌します。
- ③ 大きな気泡が抜け、義歯床から垂れてこない粘度になるまで待つてから、義歯床粘膜面に盛り上げます。
- ④ 口腔内に装着して、そのまま硬化を待ちます。約 5 分で硬化します。残存歯や深いアンダーカットがある場合には、取り出せることを硬化の途中で確認してください。
- ⑤ 硬化後、余剰な部分を取り除きます。
- ⑥ 50～60℃のやや熱めのお湯を約 200 mL コップに入れます。これに、付属スプーン 1 杯（約 2 g）の硬化促進剤を加え、スパチュラでかきまぜて溶解させた後、リライニング義歯を 3 分間浸漬します。
注）効果を上げるため、なるべく水温は 40～60℃に保つようにしてください。
- ⑦ コップより取り出した義歯を水洗し、形態修正・仕上げ研磨をして完成です。

【使用方法に関連する使用上の注意】

混和物の過剰の盛り付けは、咽頭部への流れ込みの原因となるので避けること。

【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

- ① 本材の使用により、発疹、湿疹、発赤、腫瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者又は術者においては、直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせるか、又は受けること。
- ② 粘膜が炎症を起こしている場合、又は被圧変位量に大きな差のあるときには、あらかじめ粘膜調整を行うこと。
- ③ 本材が患者の目、皮膚又は衣類に付着しないような措置を講じること。また、適用部位以外の口腔粘膜にはなるべく付着させないこと。
- ④ 本材が万一目に入った場合には、直ちに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けさせるか、又は受けること。
- * ⑤ 万一、本材が気道又は食道へ流れ込んだ場合には、直ちに専門医の診断・処置を受けさせること。
本材には X 線造影性がないので、気道に入ると除去が大変困難になります。
- ⑥ 口腔内作業完了後は、直ちに口腔内を十分洗浄する（十分に洗口させる）こと。また、皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸を使用し流水で十分洗浄すること。衣類に付着した場合

には、直ちにアルコール（綿球）で十分拭き取ること。

- 2) 不具合・有害事象
本材の使用に伴い、発赤、びらん、水疱、浮腫などの過敏症状が発生することがあります。
- 3) 高齢者への適用
反射機能の低下している患者（高齢者など）の場合には、鼻呼吸を命じて咽頭に混和物が流れこまないことを確認して使用すること。
- 4) その他の注意
① 感染防止のため、ミキシングカップ、スパチュラは清浄なものを使用し、また、使用後はアルコールで消毒すること。
② 本材を使用する際には、適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
③ 液は可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置いたりしないこと。また、テーブル、床上などにこぼした場合には、すぐに乾いた布でふき取ること。
④ 本材を使用する際には、適切な保護具を必ず使用し、目、皮膚又は衣類に付着しないよう十分注意すること。なお、医療用（歯科用）手袋は、本材の直接的接触を防ぐが、一部の有機溶媒、モノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、液、粉、粉液練和物又は滑沢材が付着した場合には、直ちに手袋を捨て、石鹸を使用し流水で手を十分洗浄すること。
⑤ 本材の硬化体を研削、研磨する際には、局所集塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ・本材は、火気、高温、多湿又は直射日光を避けて「0～23℃」で保管すること。
- ・同一保管場所に大量に保管しないこと。また、使用及び保管場所には、消火器を備えること。
- ・粉、液ともに必ず蓋をよく締めて保管すること。

【有効期間】

本材は包装に記載の※使用期限までに使用すること。

【記載の使用期限は自己認証（当社データ）による。】

※（例 Exp. '□□, ○○. は使用期限 2 0 □□年○○月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 亀水化学工業株式会社
電話番号 (フリーダイヤル) 0120-267-720
製造元 亀水化学工業株式会社

取扱説明書等を必ずご参照ください。